

# 『夢と感動』を キーワードに

# チャレンジ 『挑戦』



会長  
岡本 安量 YASUKAZU OKAMOTO

平成17年の新春を迎え、東部青年中央会30周年、年度も半年経ちました。

旧年中は会員の皆様、また関係各位の方々にご尽力いただき厚くお礼申し上げます。おかげさまでこの6ヶ月間無事終える事が出来ました事を深く感謝申し上げます。

さて、年度当初より『挑戦』というテーマを掲げ活動を行ってまいりました。

10年に一度の30周年記念式典から始まり、親子ふれあい24時間SP、記念シリーズ講演と周年事業を行った半年間になりましたが、事業を通して多くのものを学んだ事と思います。記念式典では青年中央会の設立から30周年を迎えるまでの歴史、また、たくさんの方々により築かれてきた青年中央会を知り、親子ふれあい24時間SPでは、イベントを拡大して外向けにもアピールを行いました。そして四回に渡り行った記念シリーズ講演では『事業成功へのプロローグ』という演題で、起業・経営などについて細かく勉強した

と思います。

新年より下期に入りました。下期は昨年学習した事を実践に移していただけたらと考えます。シリーズ講演ではたくさんのヒント、再認識することがあったと思います。それらを個人で、会社で、また青年中央会活動にとり入れ、今以上の成果を上げていただければと思います。

企業が元気になれば、地域が元気になり、活性化され、発展します。

この事を考えれば、我々中小企業人は大きな使命を背負っているのではないのでしょうか。その中小企業の集う青年中央会は大きな力、大きな可能性を持っています。中央会活動を通してこれからが挑戦(チャレンジ)の時です。一人でも多くの方が、強い会社作り、儲かる会社作り、または新しいビジネスの創出をしていこうではありませんか。『夢と感動』をキーワードに挑戦を繰り返して達成感、感動の年にしましょう! 本年もよろしくお願ひします。

## 例会報告

REIKAI HOUKOKU

### 1月新年例会を終えて

ナレッジマネジメント委員会副委員長 小谷 和宏 KAZUHIRO KODANI

平成17年1月20日(木)に新年例会を開催致しました。来賓、OBの皆様が多数出席される例会で、しかも今年初めての例会という事で緊張感を持ちながら必ず成功させるという強い気持ちを持ち、委員会メンバー全員で気合いを入れて頑張りました。当日は、来賓9名、OB18名、会員78名の合計105名の出席でした。久しぶりに出席率が80%を超え、30周年後半に向けていいスタートが出来たのではないかと

と思います。司会の横山会員のスムーズな進行と会員の皆様のご協力で混乱もなく無事終える事ができました。大変ありがとうございました。





# 30周年記念 シリーズ講 無事終了

## 9月例会 第1回講演会



### 30周年記念シリーズ講演・ 9月例会を終えて

平成16年9月17日(金)に福島正伸先生をお招きして、30周年記念シリーズ講演の第1回を開催致しました。ナレッジマネジメント委員会の初めての担当例会が、30周年記念シリーズ講演の第1回目、しかも会員

### ナレッジマネジメント委員会 委員長 恩田 利彦 TOSHIHIKO ONDA

以外の方も多数出席されるという事で、事前の準備は時間をかけて入念に行いました。当日は、一般の方も含めて127名の出席でした。講演内容も、いろいろな業種の成功事例を多数紹介していただき、会員の皆様にとっても成功へのヒントがたくさんあったのではないかと思います。一般の方も多数出席されましたが、会員の皆様のご協力で混乱もなく無事終える事ができました。大変ありがとうございました。



## 30周年記念講演 第2回を終えて

10月の担当例会を受け持ちましたC I委員会です。

『事業家アイデアの創造』と言うテーマで行われました。

私達、東部青年中央会の会員は、ビジネスに特化して活動しております。

まさしくこれからの青年中央会、各会員企業に結びつくテーマだと思いました。

皆さんが、これからの時代を乗り切るためいろいろな企画を考え、その生みの苦しみに悩まれていることだと思います。



まず理想を明確にすること、『たら』『れば』をなくすことづくば知らされました。東部青年中央会は本年30周年が終わり40周年に向けてスタートします。アンケートの

### C I委員会 委員長 大田 哲 SATOSHI OTA

円ショップで購入したほうきで、稼ぐ方法を例に言われてました。

また、創業して1年目から、少ない金額でも利益を出す3年目には大きな利益が出る。

3年目からと言ったら3年目でやっと利益を出すことになる。最初から利益がでなかったら準備不足だと言うことです。それと、お金がないと言うことで、創造的な意見を否定してはいけない。逆に相手の意見を肯定して、誉めると言うこと。昨年中央会の中でも『ブレーンストーミング』と言う手法が言われていますがまさしくこれです。

まだたくさんの方が有りましたが、改めて思ったのは一度スタートしたことは、立ち止まることができないと言うこと。立ち止まったらそこで終わりだということです。

東部青年中央会は本年30周年が終わり40周年に向けてスタートします。アンケートの

## 10月例会 第2回講演会

結果でもありましたが、在籍4年以内の会員が6割もいます、ここで立ち止まる訳にはいきません。『時代に挑み、次代を創る』また福島先生の力強い講演を聴きたいと思います。皆さんのご協力ありがとうございました。





# 演



## 記念シリーズ講演を終えて

30周年記念講演会委員会委員長(副会長)

井上 法雄

4回の記念講演を終えて、この新しい試みに対して絶大なるご理解と援助をいただいた瀧本直前会長、岡本会長、また支持をいただいた役員をはじめとした会員の方々に感謝感謝です。また、資金提供を頂いた雇用能力開発機構さん、そして、影になって動いていただき実質的に内容を取り仕切っていただいたBSSの高橋さん安木さん、青年中央会の仲間がまさに『夢』に向かって成し得た一大事業

だと考えております。『夢』叶って福島先生を迎えることが出来ました。これは私の生涯の中でも心に残る大イベントのひとつだと考えております。新しい鳥取県東部青年中央会への未来への布石であり、皆様方が、この講演内容を一つの糧としてそれぞれが次の『夢の実現』へ向けて岡本会長の方針である新しい『挑戦』へ向けて進んでいただければ幸いです。ありがとうございました。

## 11月例会 第3回講演会



## 11月例会を終えて

福島正伸先生による30周年シリーズ講演第3弾。今回は「事業の構想化(C1戦略)」をサブテーマにご講演いただきました。事業構想の5フレーム、構想化手法、構想化ノウハウ、マーケティング戦略等の説明、そしてグループ討議では、一言PR、二言PRを個々に作成し、各グループ内で発表しました。今回の内容は、委員会でワンシート企画書を作成する時期と重なったこともあり、大変興味深いものでした。中でも、事業の構想化で最も重要な段階はスタートアップ期である、「事業の核となることを、できることからはじめ、利益につなげる」ことがポイント。また、事業計画書を作成する場合、その中核をなすのが、ビジョンとポリシーである。ビジョ

ドリームゲート委員会 委員長  
山根 徹也 TETSUYA YAMANE



ンとは、事業が最終的にめざすべき夢であり、ポリシーとは、そのビジョンを実現するための日常の行動基準である。という点が印象的でした。今回のシリーズ講演で得た知識を会員ひとりひとりがどう実践していくかが問われてくると思います。「夢しか実現しない!!」。皆さん、頑張ってください!

## 12月例会を終えて

東部青年中央会、30周年記念事業の一角でもある記念講演。4回シリーズのラストを締めくくる12月例会を担当させていただくプレッシャーを感じつつ準備をする中で、福島先生との打合せを2回させていただきました。3回の講演の中で遠目に見る先生の感じは、自分とは別世界でとても手の届かない人のように思っていたのですが、そ



情報委員会 委員長  
平井 義一 YOSHIKAZU HIRAI

れがほんの2回の打合せの中でも身近で熱い心を持った方なんだと感じ、それは身振り手振りじゃない自分の心に正直に生きてきた証を率直に相手に伝える、という事だと知りました。

講演の最後にプレゼンテーションの実演がありましたが、その2人の方も同様に自分の心、気持ちに素直に語っておられ心地よく自分の胸に響きました。

人の心や気持ちに問いかけられるものは熱い思い、気持ちなんだと改めて確信しました。4回のシリーズ講演を終えて文字通り『事業成功へのプロローグ』と、なれば幸いです。情報委員会を代表して皆様のご協力に感謝いたします。

## 12月例会 最終講演会



第4回

# フラワーフェスティバル 開催!!

4/17  
(日)

アピール委員会 委員長  
鳥越 宣孝 NORITAKA TORIGOE

来る4/17(日)に第4回フラワーフェスティバルを開催いたします。  
今回は30周年ということもあり、従来より時間を延長し、例会抜  
いでおこないます。

テーマは、『花を咲かそう 日本一の湖山池』

内容の方は現在アピール委員会で企画中ですが、会員、家族、ま  
たそれ以外の方に多数参加していただけるようなイベントにする予  
定です。

現在企画している物では、押し花入和紙のかみすき体験、生花の  
販売相談コーナー、フリーマーケット、委員会対抗アームレスリン  
グ大会、献血コーナー、グラウンドゴルフ、湖山池周遊体験(船)等々  
いろいろ考えております。

今回のイベントでは会員と家族の方の親睦という事も考慮しなが  
ら企画しております。

会員の皆さん是非家族、友人等誘いあわせでおこしく下さいませ。

場所：湖山池お花畑ゾーン(鳥取市桂見)(少雨決行)

- 内容：
- 8:30~ 受付開始
  - 9:00~ 開会式、記念植樹
  - 9:30~ 和紙作り
  - 10:00~ チャレンジングこども体操教室
  - 10:30~ 船による湖山池周遊体験
  - 11:00~ アームレスリング大会  
(委員会対抗)
  - 13:00~ グラウンドゴルフ大会  
(委員会対抗・一般参加)
  - 15:00~ ひまわりの種まき
  - 15:30~ 閉会式 シーズバルーン放天

### 終日予定している内容



- \*お花の絵の展示
- \*生花の販売・相談コーナー
- \*フリーマーケット \*献血
- \*屋台 \*ふわふわドーム

## 県通常総会

県経営研修会の感想

### 馬路村の一喝

県会長 平野裕章 HIROAKI HIRANO

大変勇気づけられたと言うか、お叱りを頂いたような気分がずっと後に残って  
います。小さな小さな馬路村の農協の一課長(当時)の奮闘努力ストーリーは痛快で  
あり、愉快です。反面、「こんな恵まれた環境がありながら、お前たちは  
何をしているのか」と。人口20万人とはいえ、裏日本の田舎都市。大都市に比  
べて、あれが無い、これが無い、と不足ばかり。無いものねだりをしては仕様が  
ないのは解っているけれど、自分の知恵や行動のない言い訳になっている。何  
か時代を象徴しているNEET(ニート)の主張と大差ないのではあるまいか。

ファーストリテイリング(ユニクロ)のオーナーがどこかで言っていた。「何もし  
なければ失敗はない。何もしなければ成功もない」と。当たり前のことだが、一  
生ノーマスでは過ごせない。何かをしなければ生き残れないのです。今はもう「無  
業の愚」が一番大罪だと肝に銘ずべきなのです。



## I N F O R M A T I O N

### ◆スケジュール

- 委員長交流会 … 2/19日  
プランナール三朝 20日
- 3月例会 …… 3/10日  
ホテルニューオータニ
- フラワーフェスティバル  
(4月例会) …… 4/17日  
湖山池お花畑ゾーン
- 県経済交流会 … 4/20日  
中国大連市 21日  
22日
- 5月例会 …… 5/12日  
ホテルニューオータニ

### ◆新入会員紹介

- 橋本 政彦  
(株)ティエスピー/CI委員会  
〒680-0814 鳥取市南町903

### ◆新社屋落成祝い

- 常田孝一郎  
鶴興権堂協同組合/CI委員会

### ◆ご結婚おめでとう

- 星 宗治  
アピール委員会
- 西根 伸吾  
ドリームゲート委員会



## I N F O R M A T I O N